

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学科
公共	必修	2	2	普通科

科目の概要	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す科目です。内容を大別すると、「倫理的分野」「政治的分野」「経済的分野」に分かれています。3年次で学習する「政治・経済」への基礎的知識・技能を習得する科目として、「倫理的分野」「政治的分野」を中心として学習します。
-------	---

教材名	教科書	詳述 公共 (実教出版)
	副教材	新課程2025 ズームアップ公共資料 (実教出版) 詳述公共 演習ノート (実教出版)

担当者	花海・白幡
-----	-------

学習到達目標	①現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。(知識・技能) ②現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。(思考・判断・表現) ③よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。(主体的に学習に取り組む態度)
--------	--

学習方法	公共では、授業を中心にして、必要となる知識・技能を身に付けていくことを目標とする。授業の予習をすることは必要ではないが、授業においては主体的かつ積極的に思考・判断・表現などの活動に臨み、理解を深めることを目指す。また、復習を着実にを行うことで、知識・技能の定着を図るように心がけて欲しい。
------	--

評価の方法 及び 評価基準 と 評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・授業での取り組み	・課題の提出状況 ・授業、学習に対する姿勢
	A	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための概念や理論について理解し、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を十分に習得している。	社会の諸課題解決に向け、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用し、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や構想したことを議論する力を十分に習得している。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度があり、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生きる公民として、協力し合う自覚が十分に
	B	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための概念や理論について理解し、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を概ね習得している。	社会の諸課題解決に向け、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用し、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や構想したことを議論する力を概ね習得している。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度が概ねあり、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生きる公民として、協力し合う自覚が概ね感じられる。
	C	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための概念や理論について理解し、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を習得していない。	社会の諸課題解決に向け、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用し、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や構想したことを議論する力を習得していない。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度が不十分で、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についてや、公共的な空間に生きる公民として、協力し合う自覚が不十分である。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考 (テスト・講習等)
4	第1篇 公共の扉 第1章 社会を作る私たち	■第1編 第1章のねらい ・自らの体験などを振り返り、自らを成長させる 人間としての在り方生き方について理解する。	4	前期期末考査
5	1.生涯における青年期の意義 2.青年期と自己形成の課題 3.職業生活と社会参加 4.現代社会と青年の生き方	・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であり、互いを理解し高め合える社会的な存在であること、伝統や文化、先人の取組や知恵に触れたりすることで自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解する。	7	
6	第2章 人間としてよく生きる 1.ギリシア思想 2.宗教の教え 3.人間の尊重 4.人間の自由と尊厳	■第1編 第2章のねらい ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解する。	8	
7	5.個人と社会 6.主体性の確立	■第1編 第3章のねらい ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解する。	5	
8	7.他者の尊重 8.公正な社会	■第1編 第4章のねらい ・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理について理解する。	4	
9	第3章 民主社会の倫理 1.人間の尊厳と平等 2.自由・権利と責任・義務	■第2編 第1章のねらい ・現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することで、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことを理解する。	7	
10	第4章 民主国家における 基本原理 1.人権保障の発展と 民主政治の成立 2.国民主権と民主政治の発展	■第2編 第2章のねらい ・司法参加の意義や、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。	8	
11	第2編 よりよい社会の 形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格 1.日本国憲法の成立 2.平和主義とわが国の安全 3.基本的人権の保障 4.人権の広がり	■第3章のねらい ・公正かつ自由な経済活動により資源の効率的な配分が図られること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与する役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解する。	6	後期中間考査
12	第2章 日本の政治機構と 政治参加 1.政治機構と国民生活 2.人権保障と裁判所 3.地方自治 4.選挙と政党 5 政治参加と世論		6	
1			4	後期期末考査
2	第3章 現代の経済社会 1.経済社会の形成と変容 2.市場のしくみ 3.現代の企業 4.経済成長と景気変動 5.金融機関の働き 6.政府の役割と財政・租税		6	
3			5	